

基本施策評価表

上下水道ビジョン基本方向	II	安定的な給水の確保
--------------	----	-----------

基本施策	7	効率的な維持管理の推進
------	---	-------------

基本施策目標		
安定的な給水を確保するために、水道施設・管路の効率的な維持管理を進めます。また、新設・交換が必要な設備・機器についてはライフサイクルコストの縮減をめざし長寿命機器等の積極的な導入を推進します。		

計画主要施策	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 水道施設の適切な維持管理	<p>〔概要〕 安定的な給水を確保するために、水道施設・管路の効率的な維持管理を行います。</p> <p>〔取り組み〕 ア. 「水道施設情報管理システム」(マッピングシステム)を活用し、管路等の適切な維持管理、資産管理を行います。 イ. 消火栓放水調査及び漏水調査等の結果を活用し、消防署と連携して消火栓の点検・管理に取り組み、管路の適切な維持管理を図ります。 ウ. 電気設計設備、ポンプ設備などの水道施設の維持管理は、経年による機能低下とライフサイクルコストを把握し、計画的・効率的に行います。</p> <p>〔目標〕 ア. 継続実施 イ. 継続実施 ウ. 継続実施</p>	<p>水道施設情報管理システムと、給水受付システムとの統合を完成し、給水申請の進捗状況、申請箇所の位置情報も含めマッピング上で一元管理を行えるよう設定及び情報の整理を行った。</p> <p>消火栓放水調査については、消防署と連携して、5地域で32基を行い、規定水量が得られない消火栓について、異形管の改良工事及び設置工事により出水不良を解消した。 漏水調査については、電子音調器を使用した7, 379件の戸別調査と、送配水管延長55, 156mの相關式漏水探知器を使用した調査により、10件の漏水を発見した。漏水箇所の修繕を行い、二次災害を防止するとともに、有効率の向上に努めた。また、水管橋240箇所の目視調査を行い、漏水していた2橋の修繕を施して水道施設の維持管理に努めた。</p> <p>電気設計設備 ポンプ設備などについて、下記の更新改良工事に取り組んだ。 ・中宮浄水場 薬注制御盤更新 ・磯島取水場 無停電電源装置更新 ・大池配水場 電気設備更新 ・香里受水場 流量調節弁設置 ・市内末端水質計器設置 等</p>	A
放水調査箇所数	(参考:H22 7地区27基 H24 6地区41基 H24 6地区53基) H25 5地区32基		
2 ライフサイクルコストの低減に配慮した施設整備、機器・設備の購入	<p>〔概要〕 設備機器の新設、交換にあたっては、ライフサイクルコストの縮減を基本に、適切な資産の保全に努めます。</p> <p>〔取り組み〕 ア. 機器・設備の購入に関しては、イニシャルコスト、ランニングコスト双方から費用対効果を検討します。 イ. 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の趣旨に基づき、機器・設備の新設・更新については、省エネタイプの導入に努めます。また、既設の施設についても省エネに配慮した運用を行います。 ウ. 施設の新設・更新の際は、太陽光パネルの設置等、自然エネルギーの利用を検討し、環境負荷低減効果が認められる資材の調達や建設機械の使用、耐久性に優れた材料等の採用を検討し、ライフサイクルコストの低減に努めます。</p> <p>〔目標〕 ア. 推進 イ. 推進 ウ. 推進</p>	<p>機器・設備の整備更新については、ライフサイクルコストの低減に向け、長期修繕計画に基づき、効率的効果的に機器・設備の整備を行った。 また、既設の施設については、枚方市独自の環境マネジメントシステム(H-EMS)に沿った省エネ対策等を推進し、環境負荷の低減を図るとともに、環境に配慮した取り組みを継続して行った。</p> <p>管理棟・水質試験棟更新工事において、太陽光発電装置設置の実施設計を進めた。</p>	A

評価結果の説明等

「水道施設の適切な維持管理」で、管路の維持管理について、水道施設情報管理システムの整備を行うとともに、各種調査の実施により維持管理に努めた。水道施設の維持管理について、電気計装設備、ポンプ設備の更新改良を計画的に取り組んだ。

「ライフサイクルコストの低減に配慮した施設整備、機器・設備の購入」について、各施設の機器・設備の整備更新の際は、ライフサイクルコストの低減に向け、長期修繕計画に基づき、効率的効果的に行った。

以上の取り組みから、概ね目標を達成できたのでA評価とした。

今後の取り組みの方向性・展開方針

消火栓放水調査による調査結果や市民からの赤水・出水不良の情報を基に、異形管、消火栓等の改良工事を行い、水道施設の機能回復等、管路の維持管理に努める。

また、消火栓は、小規模な改良工事では対応ができず、問題解消が困難な状況であるが、今後は施工方法の規模等も考慮し、消火用水の確保を図る。

施設整備及び機器・設備の購入については、適切な管理に向け長期修繕計画に基づいて効率的・効果的に進めていく。

★参考(計画主要施策に関連する事務事業実績測定)

	事務事業名	今後の方向性	所管部署	ID
1	水道部庁舎等施設維持管理業務	現状のまま継続	上下水道経営課	31226
2	水道管路等管理事務	現状のまま継続	給水管理課	30373
3	水道管路維持管理事業	改善	水道保全課	30376
4	漏水調査事業	改善	水道保全課	30377
5	水質検査業務	現状のまま継続	浄水課	30391
6	水道施設維持管理業務	現状のまま継続	浄水課	30393